

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

3

March  
2021

山形県中小企業家同友会

# 月刊 同友 やまがた



第25期経営指針をつくる会 発表会



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2020年度スローガン

10年ビジョンを描き、  
地域と企業の持続性を追求しよう

# 経営指針の継続的な実践でよい会社をつくり、 地域に貢献しよう



1月23日、第25期経営指針をつくる会の発表会が開かれ、31名が参加しました。

今期は新型コロナウイルス感染症の影響により開催するかどうかも含めて検討を行い、「こんな時だからこそ、経営指針づくりが大切。申し込んだ受講生の思いに応えたい」と、開講を4月から8月に延期してスタートしました。発表会では6名の受講生が半年間かけて作成した経営指針書を発表しました。

冒頭、挨拶に立った小川経営指針委員長は、新型コロナウイルス感染症という過去に例のない環境下で進められてきた今期の各講座を振り返った後、「中同協経営労働委員会に参加した際に、これからの時代は業態転換を考えることも必要という提起がありました。新たな分野に参入するにはいろいろ難しいこともあります。本業をしっかりと深く掘りさげ、そこから可能性を導き出すことと理解しました。その中で自分の本業の現状を分析して、自分達の仕事の中でやれることで事業領域を広げていくことが大切です。そのためにも経営指針の成文化と実践を進め、継続して続けていく必要があります。労使見解を常に心にとどめて同友会でも活躍しながら自社の発展をめざし、地域に貢献してください。それが同友会理念を地域にひろげていくこととなります」と述べました。

今期は全5講で経営理念、10年ビジョン、経営方針、経営計画からなる経営指針書の作成をめざしてきました。課題となっていた10年ビジョンづくりではブレインストーミ

ングを用いながら修了生も一緒に10年洞察を行い、将来展望を見出すワークショップを取り入れるなど工夫をしてきました。

半年間の間には「何のために経営しているのか」「どのような会社をめざすのか」「自社の固有の役割は何か」を見出せず、悩んだ時期もありました。自問自答を繰り返しながら自分自身、社員、自社の経営に向き合って作成した経営指針書です。全員の発表が終わり、小川委員長より修了証が授与されると、緊張の面持ちだった受講生は笑顔になりました。



最後に菅原代表理事が、「皆さま、修了おめでとうございます。コロナ禍でも経営指針の重要性を認識し、進めていただいたことに感謝しております。これが終わりではなく、スタートです。経営指針は継続していくものです。私も科学性・社会性・人間性の側面から物事を見ることが出来るようになったことに感謝しています。今後も様々なことが待ち受けていると思いますが、作成した経営指針をもとに自己を高めて、あきらめず継続的な努力をすることによって必ず道が開くと思います。ぜひ、地域社会に貢献する企業となっただきたい」と締めくくりました。

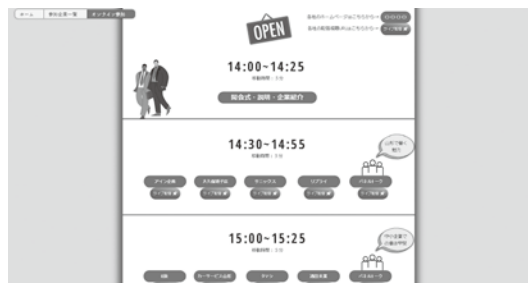
# 業界と自社の魅力を伝えよう！ Jobway2022企業研究セミナー開催



2月17日、共同求人委員会主催でオンライン行事「企業研究セミナー」を開催しました。企業17社が出展し、会場となった特設ウェブサイトには当日234名のアクセスがありました。

昨年度に引き続きコロナ禍の影響で学生側、企業側共にこれまでに無い就職・採用活動に取り組む中、3月1日の採用解禁までに業界・企業研究の機会を作るために準備を進めました。

今回は共同求人参加企業でもある(株)エム・エス・アイの協力で特設ウェブサイトを設置。企業のHPや動画を一覧できるポータルサイトとしての機能と、当日の会場機能を備えています。



開会挨拶として、佐藤啓共同求人委員長(株)サニックス代表取締役が「日本の企業のうち99.7%が中小企業です。中小企業が元気にならないと、日本は元気になりません。コロナ禍で日本中が停滞した雰囲気になっ

ていますが、中小企業から日本を元気にしたいとの思いで本行事を企画しました。各企業の熱い思いを聞き、意見交換していただきたいと思っています」と語りました。

その後、企業研究セミナーがスタート。各企業

がZoomを利用しブースを設置、学生が特設サイトから気になるブースに参加するという形式で、各社の経営者・人事担当者・若手社員が業界の特徴や社会的意義、自社の在り方について熱く語りました。

また、企業研究セミナーと並行して「ワイワイ就活パネルトーク」を開催。山形大学学術研究院松坂・山本両准教授にもご協力いただき、「山形で働く魅力とは」「中小企業での働きがいとは」「活躍している人材の共通点とは」「企業が求める人材とは」のテーマで参加者がフランクに語り合い、企業側、学生側それぞれが和気あいあいと本音を交わす場となりました。

後日、学生がいつでも中小企業の熱い声に触れられるよう、各企業のアーカイブ動画を特設サイトで配信する予定です。

昨年度はオンラインを中心に取り組んだ共同求人委員会ですが、本年はその蓄積を生かし、オンライン形式と対面形式、それぞれの良さを生かしながら地域に若者を残す活動に取り組みます。



# 企業訪問

## たまごで幸せを届けたい

(株)半澤鶏卵

代表取締役 半澤清彦氏(山形支部)

1960年に創業した(株)半澤鶏卵は今年創業60周年を迎えます。養鶏場として創業した同社は、時代の変遷とともに、卵の卸売業へ業態を変え、今日では生産、加工、販売までの6次産業化を実現し、大手生産者との価格競争に陥らない工夫を続けています。今回は半澤社長より同社の取り組みについてお伺いしました。

### 6次産業化の取り組み

同社を代表する商品『スモッチ』は、価格競争に左右されない、付加価値の高い独自性のある商品を作りたいとの思いから2006年に誕生しました。自社農場や契約農場のこだわりの新鮮卵のみを使用し、ゆで加減や塩加減にこだわり、試行錯誤の上、半熟卵の燻製卵が出来上がりました。また、燻製チップには山形ならではのさくらんぼチップを使用しています。これまで主流だった固ゆでの燻製卵とは違い、やわらかでとろりとした食感、ふんわりと広がる燻製の風味は全国に多くのファンを持つ商品となりました。

2018年にはスモッチの製造工場を併設した直営店『いではCOCCO』をオープン。直営店ではスモッチの他、自社生産の特殊卵や規格外の卵を活用したスイーツなどを販売しています。半澤社長は直営店があることで知名度が上がり、ブランド力を上げていくことができるとした上で、「販売の柱をいくつも持つ必要がある。自社で価格決定権を持つことが何よりも重要だ」と語ります。

養鶏業では全国的に養鶏場が大規模化し、卵を安く販売する業者が出てきており、価格勝負が難しい小規模養鶏場は苦境を強いられていました。県内の業者数もその影響を受け減少傾向にあり、同社の仕入先であった農場でも廃業を余儀なくされたところがありました。県内産鶏卵の生産量が消費量を下回っていることもあり、同社は廃業する農場を、そこで働く従業員も含め引き受けています。

このたび6次産業化を含めこのような取り組みが評価され、第42回食品産業優良企業等表彰で農林水産大臣賞



を受賞しました。

### 販売方法に活路を見出す

新型コロナウイルスは同社にも影響を及ぼし、スモッチの販売数は大きく落ち込みました。人の動きが制限される中、駅の売店や道の駅での売上が減り、百貨店での催事販売もなくなりました。しかしながら、これまで交通費をかけて行っていた商談をオンライン化するなど、デジタルを上手く活用し工夫しています。

その一方で、売上を伸ばしているのが、自動販売機での生たまごの販売です。直営店に設置している自動販売機では、初年度は月30万円の売上でしたが、今年度は月100万円を越え、設置してから3年間で3倍に成長しています。販売の様子は全て遠隔で携帯電話からも確認することができ、人手の少ない土曜・日曜であっても状況を確認し、採れたての新鮮な卵を速やかに補充しています。半澤社長は、その日に採れた卵をその日のうちに販売するという新鮮さが知れ渡り、リピーターがついてきたと分析する一方で「非接触で購入できる点も評価されていると思う。販売チャネルをいくつか持つことが必要だ。物が売れないというが、販売方法の中にまだチャンスはある」と前を向きます。そして最後に、自社のたまごをより多くの方に届けるため、新たな展開にも取り組んでいきたいと今後の抱負を語ってくれました。



# 3月例会のご案内

## 山形支部

### 10年後に生き残る為の多動力経営

2021.2.16(火) 18:30~21:00

場所: TISカンファレンスセンター A会議室&Zoom  
山形市漆山字大段1865-5 ☎0120-730-389

報告者: (株)IKEDA 代表取締役 池田佳貴氏

池田氏は16歳で塗装業に弟子入りし、22歳の時に資金0円で池田塗研を創業しました。祖父から譲り受けた軽トラック一台と自宅アパートの事務所でスタートし、創業から5年間は下請けや孫請け工事100%。従業員の不満ばかりの日々でした。そして塗装業をサービス業に切り変えたいという思いで脱下請けを決意し、創業時の売り上げ1500万円から20倍アップの3億円にまで成長しました。また建設業における人手不足の現状と将来予測から今後の対策を考え多動力経営で他業種参入にチャレンジ! 今では土木事業の【池田土研】、防水工事の【池田防水】、サウナ事業の【池田SAUNA】やその他、飲食事業などに挑戦しております。

グループ討論は「今の事業10年後にはどうなっていますか?」をテーマに行います。経営指針を受講し10年ビジョンを描く大切さを学んだ池田社長から先を読み実践した経営を報告して頂き、実行する大切さと行動力を学びましょう。

皆様奮ってご参加ください。ゲスト参加もお待ちしております。

## 寒河江支部

### 「同友会とYbizと私」 ~ワクワクが止まらない!

異業種との交流・人との関わりから見える私の未来~

2021.2.26(金) 19:00~21:00

場所: 寒河江市技術交流プラザ&Zoom

寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

※Zoom参加のリンクは後日ご連絡いたします。

報告者: (有)花百景 代表取締役 東孝一氏

自身の営業力を活かせる「営業する花屋」として創業した花百景。創業から半年ほどで同友会に入会、「第3期経営指針成文化セミナー」も修了しました。この24年間、常に異業種の視点を取り入れ続け、経営危機も同友会の仲間から学んで乗り越えてきました。

常にアンテナを張り、同友会をきっかけにY-biz(山形市売上増進支援センター)も活用。月額定額サービスの展開など、新たな事業づくりにも取り組みます。

「感じる力」を磨き続ける東氏の実践報告です。ご参加お待ちしております!

## さくらんぼ支部

### あれからの今。コロナ禍で見えてきた強み弱み。 ~コロナ禍をどう生き延びるか~

2021.3.17(水) 18:30~20:30

場所: 心月

東根市さくらんぼ駅前2-13-7 ☎0237-53-0444

報告者: 心月 代表 井上福寿昭氏

コロナ禍の影響を多大に受ける飲食業界。コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、メニューの縮小や短縮営業、テイクアウトニーズの掘り起こしなど、精力的に取組み、社員を守るために奮闘する心月の井上代表より、自社の取り組みについてご報告いただけます。コロナ禍で見えてきた自社の強みと弱みについて、そしてコロナ禍を乗り越えるヒントを共に考えてまいりましょう。本例会は、お持ち帰り用の松花堂弁当をご用意することができます。ご家族分のご用意も可能ですので、必要数をお知らせください! 松花堂弁当はお一つ3,300円(税込)となります。皆様のご参加をお待ちしております。

## 置賜支部

### 5年後を見据えた羅針盤づくり 第2講 「まさしく2030はデジタルの時代です」

2021.3.24(水) 18:30~21:00

第3回:4月20日(火) 18:30~21:00 第4回:5月18日(火) 18:30~21:00

第5回:6月24日(木) 18:30~21:00

場所: 伝国の杜 大会議室&Zoom

米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8000

講師: 山形大学 客員教授/有機エレクトロニクスイノベーションセンター 人材育成部長 松田 修氏

2月より5回シリーズでスタートした羅針盤づくりの第2講。テーマは、「2030はデジタルの時代」です。全ての産業における組織・ビジネスはデータ化され、仕事そのものが大きく変わって、変化力をもった会社が競争優位になります。自社にとってDX時代にどのように対処するかを考え合います。

## 庄内支部

### 「コロナ禍」 —あなたの会社はどう成長させますか?(仮題)

2021.3.22(月) 17:30~20:00

場所: 酒田市総合文化センター 410-411&Zoom  
酒田市中央西町2-59

※Zoom参加のリンクは後日ご連絡いたします。

報告者: (株)ARROWS 代表取締役 金野隆行氏

詳しくは追ってご案内いたします。

## 新庄最上支部

### お知恵拝借!

2021.2.16(火) 18:30~21:00

場所: わくわく新庄 会議室 ※Zoom参加不可  
新庄市下金沢町15番11号 ☎0233-23-0197

ミニ報告: 共栄印刷(株) 代表取締役 涌井洋一氏  
厨ダイニング 代表 佐藤奈緒氏

経営指針実践の壁に当たっている2人のミニ報告をもとに、「お悩み相談グループ討論」を行います! 他社の課題にグループで向き合うことで、自社分析だけでは得られなかった新しい視点が持ち帰れるかもしれません。同友会の仲間と語り合い、この難局を乗り越えましょう!

■開会挨拶

菅原代表理事が「今年度も残すところ一カ月とわずかとなりました。今日は今後の方針について、しっかりと討議していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します」と述べました。

■報告事項

- 1)北海道東北ブロック代表者会議 1/18(Zoom開催)4名参加  
川合代表理事より、各地同友会から会員増強、地域経済、活動の状況等の報告があり活動交流を行ったこと、中同協第53回定時総会の役員選考委員推薦、次年度のブロックからの中同協副会長候補について話し合われたこと、今年度延期した北海道東北ブロック支部長・地区長交流会については次回の代表者会議にて決めることが報告されました。
- 2)2020年度第2回中同協経営労働委員会1/20~21(Zoom開催)3名参加  
小川理事より、駒澤大学吉田名誉教授の「本業にとらわれず、されど本業を離れず」の講演から本業の深掘りをめざす必要を感じたこと、また生産性の定義、付加価値の定義について話があり、いかに付加価値を増やすかが、今後における税収への対策の面からも、また4月から中小企業にも適用される同一労働同一賃金と働き方改革が次々と進んでいく面からも必要となっていて、中小企業家同友会流生産性向上について問題提起があったことについて報告がありました。
- 3)2020年度第2回中同協共同求人委員会2/2(Zoom開催)2名参加  
佐藤(啓)理事より、改めて共同求人委員会活動は採用目的の活動ではなく、中小企業の魅力、地域の魅力を若者に伝え、地域づくりを図っていくという話があり、全国の企業が集まる求人活動のサミットは継続して行っていくこと、「Jobway」のサイトが大きく刷新されること、各地同友会の活動交流からはコロナ禍でも負けずにオンラインなども使い工夫して行っていることなどについて報告がありました。
- 4)山形市中小企業振興条例に基づく意見交換会(山形市役所)1/26 2名参加  
川合代表理事が、山形市中小企業振興条例のもと年1回開かれていく会議に参加し、山形市と参加の各団体の取り組みの交流があったが、もっと生の声を交わせる場にしていきたいと感じたと報告しました。
- 5)山形財務事務所との連携の案内について  
川合代表理事より山形財務事務所との連携について、案内をもとに説明と報告がありました。
- 6)2020年度1月月次報告  
矢作事務局長より1月の月次報告がありました。
- 7)2020年度1月月次決算報告  
矢作事務局長より1月の月次決算報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 3名入会、2名退会 422名

■討議事項

議題1:組織委員会より

菅原代表理事が新会員オリエンテーションについて前回東海林氏より報告をいただき非常に好評で、報告者を修了生に依頼していくこと、またビッグデータ活用のためのセミナー、9月に委員会合同例会を開催すること、組織委員会のまとめと方針案の検討を行ったことを報告し

ました。

議題2:2021新春交流会のまとめ

長谷川実行委員長から2021年新春交流会のまとめと収支報告があり、承認されました。

議題3:第37回総会議案について

川合代表理事から2020年度活動のまとめ(案)、菅原代表理事から2021年度活動方針骨子(案)が提案され、2月末日までに意見を募ることとなりました。

議題4:役員選考委員会について

役員選考委員には、後藤智樹、飯野純一、佐藤弘康、菊地仁士、今泉孝、後藤正人、柴田慶一の7名が選出されました。また、今後のスケジュールでは、3月理事会にて推薦のあった理事と、役員公募(2月19日~3月2日)で立候補・推薦のあった方々について役員選考委員会を開き、選考の上、総会に提案することを確認しました。

議題5:第37回定時総会について

後藤副代表理事より開催要項と講師案の提案があり、開催要項が決まりました。

●日時:4月22日(木)15:00~18:00

●会場:会場は来月に感染状況をみながら決定

●開催形式:総会と記念講演を会場参加とZoomによるハイブリッド形式

議題6:山形県議会からの意見提出の依頼について

川合代表理事より山形県議会事務局から新型コロナウイルスに係る経済対策を行っている中で支援が不足している業種・分野、求められる支援策に関する要望や意見などの依頼があったことが説明され、2月15日まで役員の方々より意見をいただき、まとめていくこととなりました。

議題7:中同協関係について

菅原代表理事が「中同協50周年同友会運動の将来展望(10年ビジョン)」「中小企業家の見地から展望する日本経済ビジョン」について紹介し、意見集約をしたいと依頼しました。また、全国行事については、第51回中小企業問題全国研究集会の参加呼びかけが行われ、6月に開かれる第24回女性経営者全国交流会in愛知の分科会で(株)長門屋代表取締役笹林陽子氏が報告者となることが報告されました。

■その他

1)今後の予定について

・2月16日(火)中同協社員教育委員会(Zoom)14:00

・2月17日(水)企業研究セミナー(オンライン)

・2月19日(金)第30回中同協青年部連絡会(Zoom)13:30

・3月2日(火)2020年度第2回女性部連絡会(Zoom)13:00

・3月9日(火)中同協幹事会(Zoom)13:00

・3月13日(土)第51回中小企業問題全国研究集会(オンライン)10:30~17:30

2)理事会の予定

●日時:3月10日(水)13:30~17:00

●会場:TISカンファレンスセンター

■閉会挨拶

阿部副代表理事が「以前、社長はこういう学びの場にくる時間をつくるのが仕事と言われたことがある。経営者は時間をつくるのが一つの大事な仕事と捉え、学びの場に足を運び、皆さんと学びを共有することが大切だと思います」と述べました。



さとう けんたろう  
 ◆ 佐藤 健太郎 氏  
 (株)エスパック 常務取締役  
 パッケージによる価値創造業  
 山形支部

すずき さなえ  
 ◆ 鈴木 里苗 氏  
 (株)セカンドハウス彩祐結 代表取締役  
 児童福祉(デイサービス、相談支援、学童)  
 山形支部

こばやし きよし  
 ◆ 小林 聖志 氏  
 (株)のうぐぼこ 代表取締役  
 ソフトウェア開発  
 さくらんぼ支部

会員変更

●(株)ディスコ運輸 人材開発事業課長 小関敏一氏→ 課長補佐 田村拓也氏(山形支部)



山形県中小企業家同友会

# 委員会だより

2020年度第5号 2021.3.1発行  
山形県中小企業家同友会  
山形市漆山大段 1865-5 TIS BLDG.201  
TEL : 023-615-8302  
HP : <http://yamagata.doyu.jp/>

## 【女性部会】

女性部は、業務時間外になかなか学びの時間が取れないという女性会員のために、平日昼間に例会を開催しています。

今年度は「集おう！そして、女性リーダーとして成功しよう！」というスローガンで活動してきました。

コロナ禍、緊急事態宣言明けての6月、山形同友会で一番のりのハイブリッド例会を開催したときは、「会えてよかった」「不安が和らいだ」「事業をやめようと思っていたが、今日みんなの話を聞いて思い直した」など、心に残る例会となりました。

仕事・家庭・プライベートと、すべてを肩に背負う女性は多く、「何のために経営する」「何のために働く」「生きがいとは」を問い続けます。同友会では、女性の視点を「生活者の視点」と位置付けます。

この時代、ますます「自分らしく生きる」という気持ちが高まっていくと予測されますがその時、あなたの会社は、どんな会社でありたいですか？

生活者として、働く・生きるを、鮮やかに表現するために、女性部で一緒に学びましょう！学んで実践して、わが社を「いい会社」にしましょう！

今年度はなんと、コロナ禍に立ち上がって「経営指針をつくる会」に、「こんな時だからこそ会社をしっかりと発展させる！！」と、女性会員が3名も受講しました。

その3名の「指針報告会」を3月開催します。詳しい内容は下記よりご確認ください！どうぞおたのしみに。

あなたも、熱い指針発表会に、ご参加くださいませ。

### 女性部3月例会 経営指針受講報告スペシャル 『経営指針をつくる会』を修了して

#### 【報告】

- (有)ミートの元気商事 代表取締役 中村明美氏
- (有)シャルル 店長 林比呂子氏
- Various Fashion 代表 河原 恵氏

- と き：3月17日(水) 13:30～16:00
- と ころ：山形同友会事務局

参加ご希望の方は、e.doyu または、事務局までご連絡ください。



# 【青年部会】

コロナショックが直撃し、多くの企業経営者が「あるべき経営のかたち」を模索する今、我々は企業変革が求められています。特に人財育成と後継者問題は深刻で、後継者がいないことが原因で、休・廃業する企業が増加しているのも事実です。

山形の未来を担う我々青年経営者には、高い志のもと、常にチャレンジの姿勢を大切に挑戦し、企業・地域・山形を元気にする使命感を持ったリーダーになることが急務です。

2019年4月より、次世代を担うリーダーに必要とされる総合的な能力を身につけることをめざし、青年部が設立されました。共に切磋琢磨し、経営を学び、実践し、支え合い、企業と地域を元気にしていきましょう！

## 青年部の目的

同友会理念と高い志のもと、若手経営者が交流を深めるとともに、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけ、常にチャレンジの姿勢を大切に挑戦し続け、会員企業ならびに山形経済の振興・発展に寄与することを目的とします。

## 【対象】

同友会会員・同友会会員企業の後継者または経営幹部 47 歳以下の方

## 【主な活動】

- (1) 若手経営者が経営の基礎を継続的に学ぶ研修会、例会の実施。
- (2) 若手経営者相互の交流とビジネス連携の強化。
- (3) 企業の事業承継に関する研修会、例会の実施。

## 【内容】

●青年部例会（4回開催予定）若手経営者がお互いを知り、共に学び合う例会

●経営者が理解すべき数値の理解（全6講）

数字の面から、これからの経営に必要な能力を養います。

- 1 講 自社の現状を知る（3つの質問）
- 2 講 お金の流れを知る（必要な利益の理解）
- 3 講 必要利益からの逆算法（利益の重要性）
- 4 講 労働分配率とは？（付加価値3倍の意味を知る）
- 5 講 資金繰りの重要性（キャッシュフローとは？）
- 6 講 未来 V I S I O N 作成のポイント

なかなか周りには相談できない経営に関する悩みを、同じ年代で、同じ立場だからこそ語り合える場として青年部が存在します。

スピードと行動が求められる時代です。まずは行動！参加してみましよう！

**青年部企画への申し込みは添付チラシか e.doyu から！**